

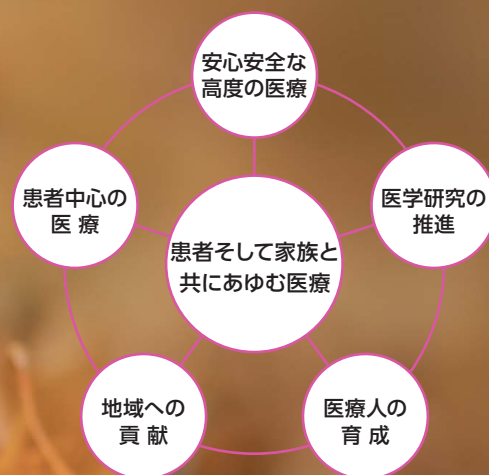


# 医療連携だより[アシスト]

# ASSIST

2025.10  
No.66

帝京大学医学部附属病院



## contents

脳神経内科の認知症診療への取り組み  
——物忘れ外来と抗アミロイドβ抗体治療について

脳神経内科 教授 斉藤 史明

当院耳鼻咽喉科における頭頸部がん診療

耳鼻咽喉科 病院准教授 安原 一夫



# 脳神経内科の認知症診療への取り組み ——物忘れ外来と抗アミロイドβ抗体治療について

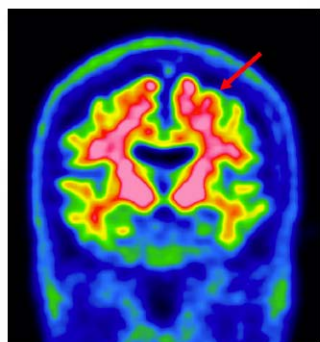
脳神経内科 教授 齊藤 史明

超高齢社会の進展に伴い、現在我が国では1000万人を超える認知症ならびに軽度認知障害の患者さんがいると考えられています。そして当院脳神経内科ではこれらの患者さんへの対応を重要な使命のひとつと考え、専門的かつ地域に開かれた診療を行っています。認知症は物忘れから始まることが多いものの、その背景にはアルツハイマー病やレビー小体型認知症、血管性認知症など多種多様な病態が存在します。早期に正しく診断し、生活支援や治療に結びつけることが患者さんとご家族の安心につながります。

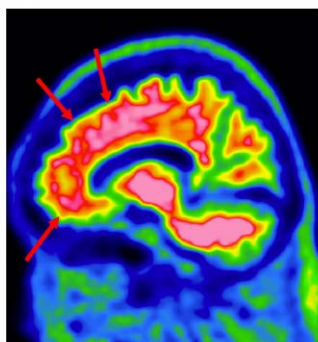
その入口として当科では「物忘れ外来」を開設し、専門医による丁寧な問診、神経心理検査、血液検査、MRIや核医学検査などを組み合わせ、診断を行っています。必要に応じてアミロイドPET-CTなど先進的な検査も活用し、より正確な評価を目指しています。診断後は薬物療法や介護サービスを適切につなぎ、地域のクリニックやかかりつけ医の先生方との医療連携を重視して切れ目のない支援を行っています。

近年、新たな治療選択肢としてアルツハイマー病に対する「抗アミロイドβ抗体治療」が注目されています。このためのレカナマブやドナマブといった薬剤は、アルツハイマー病の主要な病理であるアミロイドβ凝集体を脳から除去することにより、病態進行を抑制する効果が大规模臨床試験で示されました。両薬剤ともに国内で承認が得られており、当科の物忘れ外来でも対象となる患者さんには慎重な検査と十分な説明のうえで投与が開始されています。低頻度ながら副作用が出現することもあるため、定期的なMRIフォローと慎重なリスク評価が不可欠ですが、物忘れ外来では脳神経内科専門医の監督のもとでの治療が安全に実施されています。

当科はこうした最先端治療を適切に活用するとともに、地域の医療機関や介護福祉職の皆さまと協力し、患者さん一人ひとりに寄り添った認知症診療を進めてまいります。物忘れが気になる方、ご家族で心配を抱えている方は、どうぞお気軽にご相談ください。



アミロイドPET-CT検査。  
赤矢印の部分にアミロイドβの蓄積を認める



脳神経内科物忘れ外来のスタッフ



帝京大学医学部附属病院  
脳神経内科  
ウェブサイト▶



脳神経内科 教授  
齊藤 史明 (さいとう ふみあき)

1988年 群馬大学医学部卒業  
1988年 東京医科歯科大学神経内科学講座入局  
1996年 帝京大学医学部神経内科学講座 助手  
1999年 アイオワ大学ハワードヒューズ医学研究所留学  
2002年 帝京大学医学部神経内科学講座 助手  
2008年 帝京大学医学部神経内科学講座 講師  
2012年 帝京大学医学部神経内科学講座 准教授  
2021年8月より現職

【所属学会・資格】  
日本神経学会代議員  
日本生化学会評議員  
日本認知症学会専門医  
日本内科学会認定医  
日本神経科学会  
日本筋学会  
日本ゲノム編集学会

## 当院耳鼻咽喉科における頭頸部がん診療

耳鼻咽喉科 病院准教授

安原 一夫

頭頸部は、口腔、鼻腔、副鼻腔、咽頭（上咽頭・中咽頭・下咽頭）、喉頭、唾液腺、甲状腺などを含みます。これらに起こるがんの総称を「頭頸部がん」といい、がん全体の約5%を占めます。

頭頸部がんの多くは嚥下や呼吸の経路に生じるため、がんの発生とその治療によっても、生活の質が大きく損なわれる可能性があります。がんの治療には根治性が求められますが、同時に安全に治療を行うことや機能を保つことも重要です。特に耳鼻咽喉科は聴覚や嗅覚、嚥下、呼吸といった機能に関わる部位を扱う診療科ですので、当科では機能を保つことを常に念頭において、日々の診療にあたっています。

主な原因として、口腔がん・咽頭がんは喫煙と飲酒、喉頭がんは喫煙があげられます。また上咽頭がんはEBウイルス、中咽頭がんにはヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が原因のひとつとなることが知られています。HPV感染が原因の中咽頭がんは、放射線や抗がん剤が効きやすいことがわかっており、機能を保つ目的で（化学）放射線療法が選ばれることが多くなっています。

頭頸部がんでは、手術と（化学）放射線による治療によって根治を目指し

ます。頭頸部は構造的に安全域を大きく取れないこと、嚥下、発声などの機能を担う部位であるため、根治性と機能性のバランスを保った治療を目指す必要があります。早期がんでは内視鏡下経口切除などの低侵襲手術を選択することがありますが、進行口腔がん、咽頭がんなどに対しては拡大切除をおこなった場合には皮弁再建手術が行われます。

一例として下咽頭がんでは、咽頭、喉頭、頸部食道の切除後に消化器外科により切除した空腸の一部を咽頭切除部に縫着します。その後に形成外科により空腸動脈、静脈を頸部の血管に吻合することで空腸の壊死を防ぎます。このように耳鼻咽喉科・頭頸部外科医だけでなく、消化器外科医、形成外科医が合同で行う手術ですので、8時間以上かかるよう大がかりな手術になります。

当科では、他科、他職種と密に連携しながら早期・進行頭頸部がん治療を行っています。光免疫治療や、咽頭がんに対するロボット支援手術も導入検討中です。地域医療に貢献できますよう精進してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



頭頸部がんの再建手術中の様子。  
耳鼻咽喉科だけでなく、外科や形成外科の医師と協力する



帝京大学医学部附属病院  
耳鼻咽喉科  
ウェブサイト▶



耳鼻咽喉科 病院准教授

安原 一夫 （やすはら かずお）

2006年 3月 千葉大学医学部 卒業  
2008年 4月 東京大学 耳鼻咽喉科学教室入局  
2009年 7月 JR東京総合病院 耳鼻咽喉科  
2010年 4月 日立総合病院 耳鼻咽喉科  
2010年10月 公立昭和病院 耳鼻咽喉科  
2014年 4月 東京大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科  
2016年 4月 竹田総合病院 耳鼻咽喉科  
2025年 4月 帝京大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科

【所属学会・資格】

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 専門医・指導医  
日本頭頸部外科学会 頭頸部がん専門医・指導医  
日本気管食道科学会 気管食道科専門医  
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医



## 帝京大学病院でPET-CT、アミロイドPET-CTが撮影できます！

### STEP1

医療連携室または中央放射線部検査予約係にお電話ください。検査日時  
の確定や必要書類についてご説明さ  
せていただきます。

お手元に「PET-CT検査依頼票」また  
は「アミロイドPET-CT検査依頼書」が  
ございましたらFAXにて先に送って  
いただくことも可能です。FAX確認後、折  
り返し当院よりご連絡させていただきます。

書類はこちらからダウンロードできます



上の2次元コードをスキャン。  
または当院ホームページより  
(トップページ上部) 医療機関の方へ▶医療  
連携▶放射線検査予約▶PET-CT検査、ま  
たはアミロイドPET-CT

### STEP2

予約日時確定後、「PET-CT検査につ  
いての説明書・同意書」または「アミロ  
イドPET-CT検査について  
の説明書・同意書」のFAXをお願いいた  
します。

**【FAX03-3964-1067】**

#### 結果送付

検査結果報告書(読影レポート) 及び  
検査データ(CDまたはDVD) 等を紹  
介元医療機関宛に原則7日以内にお送  
りいたします。

### STEP3

患者さんに「診療情報提供書」、「PET-  
CT検査について  
の説明書・同意書」または「アミロ  
イドPET-CT検査について  
の説明書・同意書」、「帝京大学医学部  
附属病院のアクセスマップ」をお渡し  
ください。検査当日にご持参いただき  
ます。

#### 検査当日

検査予約時間30分前に1階①初診受  
付までご来院ください。

#### お問い合わせ、検査申込先

##### ■医療連携室

TEL:03-3964-1498

受付時間:(平日) 8:30~17:00 (土曜) 8:30~12:30

#### 帝京大学医学部附属病院

##### ■中央放射線部 検査予約係

TEL:03-3964-1211 (内線:32224)

FAX:03-3964-1067(直通)

受付時間:(平日) 8:30~16:30 (土曜) 8:30~12:00

## 当院の職員が「救急業務協力者にかかわる救急部長賞」を受賞

2025年9月9日(火)、当院事務部の和久正志相談役が東京  
消防庁より「令和7年度救急業務協力者にかかわる救急部長  
賞」を受賞しました。感謝状は、板橋消防署の松本署長より授  
与されました。当院としては、2024年度の脳神経外科庄島正  
明先生の表彰に続き、個人として2年連続の受賞となります。

周辺地域の消防署からは、日ごろより救急医療の連携業務  
に関して忌憚のない意見をいただき、当院として改善できるこ  
とを一つひとつ地道に見直してまいりました。この度の栄誉を  
励みに、当院ではなお一層、救急医療に注力してまいります。

### 救急業務協力者にかかわる救急部長賞とは？

毎年9月9日の「救急の日」及び「救急医療週間」に関連  
して、救急業務の発展に多大な貢献をした個人や団体に  
贈られます。対象となるのは、救急医療の質の向上や救急  
対応に貢献した人、医療機関や企業などです。



板橋消防署の松本署長より感謝状を授与



当日は、救急医療運営委員長(外科主任教授)の深川剛生先生と、  
看護部の土谷明子部長も出席